

**会員報告 第10班 平成23年5月14日（土）～5月22日（日）**

○株式会社六合（報告会発表文から）

参加した方（2人：<sup>まつかわかずよし</sup>松川和義 <sup>いまいけんた</sup>今井健太 の皆さん）

10班の報告をします。よろしくお願ひします。

私ども10班は、災害対策車両の照明車の作業で、先ほどの9班の方から引き継ぎまして、宮城県石巻市の釜谷地区へ、5月15日の日曜日から5月21日の土曜日までの予定で作業をしてきました。

9班の佐藤工務店さんと同じく照明車両の担当ということで、愛知県建設業協会からは私ども1社で2名での作業への参加となりました。

作業内容としましては、5月15日（日曜日）の早朝に作業の引き継ぎをしまして、5月20日の金曜日の朝、照明車の消灯をする間、東北地方整備局さんのポンプ車付近を照らす作業を毎日繰り返していました。

作業とは別の話ですけど、この期間に時間が空いたときなどに、作業場所から近い津波の被害地を見て回っていたのですが、その中で一番印象に残ったのは、先ほどもお話があった作業場所地区にある石巻市の大川小学校。やはりここが一番印象に残っています。先ほどの9班の方の報告どおりののですが、この学校は、皆さんもテレビや新聞のニュースでご存知の方が多いと思いますが、全校生徒の8割くらいが大津波に襲われて行方不明になった学校で、私たちが行ったときには校舎の中は瓦礫や泥などはきれいに片づけられていたのですが、花束や、5月ということで鯉のぼりが飾ってありまして、学校の前で手を合わせてみえる方がたくさん見えまして、私たちも一緒に手を合わせてお祈りをしてきました。また、自衛隊の方たちが、校舎近くの山すそや住宅跡を、手作業で搜索活動を行っていましたが、いまだに行方不明者の方がたくさんいる場所だと改めて思い、複雑な気持ちになりました。

私たちが作業していた場所は、5月の時点で車で行ける堤防の中で一番先の方で、同じような津波が来たらそこから避難する場所はなく、あれば先ほどの学校の生徒さんたちは助かっていたと思うんですけど、車で急いで走っていかないと山の方には行けない場所でした。

先ほどの作業の続きですけど、本当は私どもの後に11班の方が予定されていましたが、作業引き継ぎのため5月20日に、地元の石巻市の業者の方が8インチのポンプを2台セットするという話になりまして、私たちの照明車と東北地方整備局さんのポンプ車は撤収することになりました。11班の方とも私は何度も連絡を取り合っていたんですけど、予定されて準備もたぶん終わって、出発する1日前といってもたぶん12時間くらい前だと思うんですけど、どうされたのかとちょっと心配になりました。一応出発前には止まったみたいです。

撤収することは、東北地方整備局のこの地区の担当者の方がみえていまして、前日の夕

方に明日撤退となる旨、私は直接聞いたんですけど、このことを中部地方整備局の担当者の方から連絡を受けたのが、前日ポンプ車が撤収を始めて、私たちがそれを手伝って、翌日の朝地元の業者の方がポンプ車のセットを始めた11時くらいにやっと連絡が来るような感じでした。逆に、東北地方整備局の担当者の方が心配して、昨日連絡してあるはずだが、「まだ連絡ないですか？」ということで何度か心配の声をかけてくれました。

撤収は、他の指示より難しさはないと思われるのですが、指示が出るのに時間がかかりすぎるのではないかと疑問が残りました。

撤収の際照明車を現地支援基地のみちのく公園まで運搬したの運搬したのですが、約2時間の道のりで、道路の路面の段差に普通車では感じられないほどの運転席での段差が激しく、照明車には、スイッチ類がたくさんあり運転席が飛び跳ねた勢いで膝などがスイッチ類に当たり各種のランプが点灯することもありその都度説明書を頼りに解除しておりました。

支援基地みちのく公園に着いて照明車を指定の駐車場に持っていったときに、全国の地方整備局さんのポンプ車、照明車、待機支援車がほぼ集まっていた、ざっと100台以上はあったと思うんですけど、私どもが止めた所が鹿児島ナンバーの車の隣でした。これを見まして、災害時に活躍できる車両が全国にこんなにたくさんあるんだということを感じて帰ってきました。

以上、10班の報告です。ありがとうございました。

#### (各社の活動)

